

「徳島県企業局経営計画の見直し」に係るパブリックコメント実施結果

令和2年1月30日(木)から2月19日(水)までの間、オープンとくしま・パブリックコメントを実施したところ、4名の方から7件の御意見をいただきました。

御意見の概要と県の考え方は、次のとおりです。

番号	いただいた御意見の趣旨	御意見に対する県の考え方
1	徳島県企業局がトヨタ自動車グループの「かいぜん」を見習う。	民間の経営感覚を活かした、人・組織づくりや計画的かつ効率的な経営を進めていくことは重要と考えており、計画の中でも、人材育成のために、産学との共同研究等により民間ノウハウの習得、モチベーションの向上を図ることや、効率的な業務遂行のために、状況に応じた業務改善を行うこととしています。
2	徳島県企業局が高度の専門的な知識及び専門的な技術を有する技術士(機械部門・電気電子部門・建設部門・上下水道部門)の採用を行う。	電気・機械の技術職員については、事業運営に必要な専門的知識や高い技術力が必要です。このため、職員研修において、電気主任技術者やダム水路主任技術者などの計画的な資格取得、実務を通じたOJT及び新技術や先進事例に関する講習会への参加などによるスキルアップを図ることとしています。 更に専門性が必要な業務については、コンサルタント会社を活用した委託業務により対応したいと考えています。
3	そごうの撤退により、駅前の駐車場も利用者が少なくなり、経営もきびしくなるのではないかと思います。藍場町地下駐車場は、駅前の駐車場として必要なので、ぜひ、続けてほしいと思います。	藍場町地下駐車場は、主にあわぎんホールや藍場浜公園等の利用者の利便性の向上を図るために設置されたものです。今後も、公営の駐車場として、健全経営を図りながら、多様化するニーズにあわせたサービスを提供していきたいと考えています。
4	駐車場でクレジットカードや電子マネーで支払いができると、とても便利だと思います。早く、導入してほしいです。	企業局では、藍場町地下駐車場と松茂駐車場を運営していますが、キャッシュレス社会が進展する中、まずは、松茂駐車場において、料金システムの更新とあわせ、来年度、導入する予定としています。

番号	いただいた御意見の趣旨	御意見に対する県の考え方
5	<p>自然エネルギーの導入の加速で、市町村等への導入支援となっているが、市町村任せにせず、企業局自らが導入していくべき。</p>	<p>水力発電は、自然エネルギー自給率の向上をはじめ、災害時の非常電源として活用可能な地域分散型電源として、その普及促進は大変重要であると考えています。</p> <p>現在進めている「市町村等における小水力発電の事業化の支援」では、地権者や関係者に関する情報提供をはじめとした地元自治体の協力が不可欠であるため、市町との協働により、地域が主体となる小水力発電導入のモデル事業の確立に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>また、有望地点の発掘に際し、コスト面で有利と考えられる廃止発電所跡等のみならず、これまでと視点を変えた幅広いリサーチを行っていきます。</p>
6	<p>水力発電や太陽光発電だけではなく、風力発電など、他の自然エネルギーも導入してはどうか。</p>	<p>企業局では既存の4水力発電所のほか、平成13年度に佐那河内風力発電所、平成25年度にはマリンピア沖洲太陽光発電所及び和田島太陽光発電所を建設し、平成30年度には美馬市木屋平地区において「ピコ水力発電設備」の実証実験を開始するなど、様々な取組を実施してきました。</p> <p>このような導入実績を持つ企業局としましては、民間による取組状況も勘案しつつ、災害に強い「自立・分散型エネルギー社会」実現への貢献や、事業の採算性、民間事業者への影響等も考慮し、先導的な取組ができるよう、引き続き調査・研究していきたいと考えています。</p>
7	<p>地域の観光資源を活用したニューツーリズムの創出について、どんなツアーができるのか楽しみにしている。親子連れをはじめ、様々な人が参加できるようなものにしてほしい。</p>	<p>企業局では、今まで、川口エネ・ミューを核として、水力発電所見学や周辺施設を活用した森林体験学習など、主に親子を対象とした「とくしま自然エネルギー探検隊」や、一般の方や親子を対象としたダム湖面でのカヌー・SUP体験バスツアーなどを地元的那賀町等と協力し実施していますが、今後はこれらを連携、発展させるなど、地域の方々が主体となり企画するツアーの創出を、関係者の皆様と協力しながら取り組んでいきたいと考えています。</p>